

令和 7 年 3 月 11 日
教育振興部光が丘図書館

練馬区子ども読書活動推進計画（第五次）（素案）に寄せられた意見と
区の考え方について

1 意見の受付状況

(1) 意見募集期間

令和 6 年 12 月 11 日（水）から令和 7 年 1 月 15 日（水）まで

(2) 周知方法

ア ねりま区報（12 月 11 日号）への掲載

イ 区ホームページへの掲載

ウ 区立図書館ホームページへの掲載

エ 区民情報ひろば、区民事務所（練馬を除く）、区立図書館（南大泉図書館分室を除く）での閲覧

オ 区立小中学校の児童・生徒用タブレットパソコンの「ブックマーク」から閲覧

(3) 意見件数

127 件（87 名・1 団体）うち子どもからの意見は 89 件（80 名）

2 寄せられた意見の内訳（）内の数値は子どもからの意見数

項 目	件 数
計画全体に関すること	13(11)
第 1 章 計画の基本的な考え方	0(0)
第 2 章 子ども読書活動における現状と課題	0(0)
第 3 章 計画の基本目標と取組の体系	0(0)
第 4 章 第五次計画目標指標	3(0)
第 5 章 子ども読書活動推進のための取組	111(78)
Ⅰ 家庭	内 15(11)
Ⅱ 学校	内 15(11)
Ⅲ 図書館	内 75(54)
Ⅳ 地域	内 6(2)

その他	0(0)
合 計	127(89)

3 寄せられた意見に対する対応状況 () 内の数値は子どもからの意見数

項 目	件 数
◎ 意見の趣旨を踏まえ計画に反映するもの	7(3)
○ 素案に趣旨を掲載しているもの	87(74)
□ 素案に記載はないが他の施策・事業等で既に実施しているもの	13(3)
△ 事業実施等の際に検討するもの	7(1)
※ 趣旨を反映できないもの	2(0)
－ その他、上記以外のもの	11(8)
合 計	127(89)

4 寄せられた意見と区の考え

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
計画全体に関すること			
1	新規事業が多いことを評価する。ぜひ実施してほしい。 (他同意見1件)	これまでの取組を着実に継続・発展させながら、「練馬区子ども読書活動推進計画（第五次）」の実現に向けて、新規事業に取り組みます。	○
2	「障害」の表記を「障がい」に変更してほしい。	国の法令や他の地方公共団体の条例等に基づく制度、施設名、法人・団体等の固有名詞については、「障害」の表記を行っていることから、練馬区では「障害」という文字を使用しています。	※
第4章 第五次計画目標指標			
3	学校図書館の貸出冊数が目標に設定されているが、児童生徒数が考慮されていないため妥当性が分からない。児童生徒一人当たりの冊数等にしないと	より分かりやすくするため、学校図書館の貸出冊数に、生徒一人当たりの貸出冊数を追記します。	◎

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
	比較できない。		
4	乳幼児への電子書籍貸出件数の目標を600件としているが、乳幼児に電子書籍を与えることについて、議論が必要だと思う。	乳幼児に電子書籍を見せる際は、保護者と一緒に利用することを想定しています。電子書籍は外出の際等の利便性が高いこと、画面の拡大等もできることから障害児の利用に際しても利点があります。保護者と一緒に使いながら、デジタル機器との上手な付き合い方を模索していくことで、電子書籍は有用なものとなりえると考えます。今後、子ども読書活動推進会議等で検討します。	△
5	中学生、高校生についての電子書籍貸出件数の目標がそれぞれ、650件、400件であるが、この年代には少なすぎるのではないか。	近隣区の図書館の紙書籍と電子書籍の貸出件数の割合から、練馬区の中高生の貸出件数の目標値を設定しました。将来的には、この目標を超えてさらに電子書籍の利用が増加するよう、コンテンツの充実に取り組みます。	－
第5章 子ども読書活動推進のための取組			
I 家庭			
6	ブックスタートのスタッフをしている。ブックスタート配布率達成のために0歳児保育園との連携を提案する。保護者会の機会などにスタッフが出かけていくのはどうか。	ブックスタートの引換券は4か月児健診受診時に保健相談所から配布しています。保育園では配布対象となる月齢の低い乳幼児の数が少ないため、ブックスタートの周知方法としての有効性を検証する必要があります。今後の配布率向上のための参考とします。	△
7	ブックスタート事業について、入学記念、卒業記念などのタイミングでも本を配布してほしい。	子どもの年齢が上がると、関心や好みが多様化していきます。ブックスタート事業を拡充する予定はありません。	※

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
		んが、子どもたちがさまざまな本との触れ合いを続けられるよう、引き続き推薦図書リストの配付や、お話し会など多様な読書事業を展開していきます。	
8	ブックスタート事業について、読書活動の推進のために活動するボランティアにはボランティア保険加入費用を区で負担すべきではないか。	ボランティア保険については、ブックスタート委託料の中に保険料分を含めています。	□
9	ブックスタートについて、参加率が記載されていますが、配布率を伸ばす方法を考えた方がよい。	参加率ではなく、配布率を目標指標に変更します。ご家庭の事情により会への参加が困難な方もいます。参加ができない場合も、本の配布をしていますので、時間外対応についても周知します。	◎
Ⅱ 学校			
10	学校図書館にある端末から区立図書館の蔵書の検索ができればいいと思う。学校の図書館の端末から予約はできなくても、探したい本の所在が分かれば、子どもたちが最寄りの区立図書館に行くきっかけにもなると思う。	学校図書館の端末から区立図書館の蔵書を検索することはできませんが、インターネット環境があれば、タブレットパソコン等から区立図書館ホームページで在架状況を調べることができます。	○
11	学校で朝読書に取り組んでいることは知っているが、その結果、どんな本を読んでいるか、何冊くらい読めているのか、フィードバックもないため「やりっぱなし」に感じる。	朝読書の実施状況については、2年に1回実施している東京都子供読書状況調査で把握に努めているところです。実施の有無や、1か月の読書冊数は図書館ホームページで公開している練馬区子ども読書活動推進会議資料でご覧になれます。	□
12	子どもへの普及啓発ばかりに注目しているように思うが、そもそも親や先生は読書しているのか。いくら周囲で	読書活動の啓発に関しては子どもだけでなく保護者等への働きかけも重要だと捉えています。保護者に対し	○

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
	「読書は大切」等と訴えたところで「自分の親だって読んでないし」「先生から本を紹介されたこともないし本のお話を聞いたこともない」では空回りでは。親や先生への啓発も同じように着目すべきではないか。	ては、家庭向けのよみきかせ講習会の実施や、学校図書館だより等による啓発などを行います。	
13	令和7年度からの「学校司書の配置」について、この「配置」は区の直接雇用の配置と考えてよいのか。	学校司書については、現在の「委託」から「派遣」に雇用形態が変わりますが、区の直接雇用ではありません。	－
Ⅲ 図書館			
14	古い本の買替えがされていると思うが、まだ出版年が古く図書が傷んでいる本が見受けられるので、更なる確認と買替えをお願いしたい。もっとも、出版年が古いからといっても、今なお読むに堪える名作もあることを付記しておく。	傷みのある資料については、除籍を検討し、買替え等適切に蔵書の更新を行います。	□
15	子どもだけが落ち着いて座って本を読めるスペースや気兼ねなく読み聞かせができる親子のスペースを各図書館に増やして欲しい。静かにさせなくてはいけないと思って図書館に子どもを連れて行くのを躊躇ってしまう。 大人が机椅子を占領していることが多いため、子ども専用の机と椅子を増やしてほしい。	児童コーナーでは読み聞かせをしていただくことが可能です。今後、改修工事の際に順次児童コーナーの充実を図っていきます。また、会話可能な時間・場所を設定して子ども連れの保護者が気兼ねなく図書館を利用できる環境をつくります。	○
16	他区と比べてキャラクターものの絵本が少ない（ディズニーやあんぱんまんなど）。興味のない子どもでも少し砕けた内容の絵本であれば読んでくれるかもしれない。種類を増やしてほしい。	人気のある絵本は所蔵していても、貸出し中で在架していないこともあります。読書の導入に適したやさしい内容の資料も含め、蔵書の充実を図ります。	□

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
17	きちんとチェックしてくれて本を綺麗に保てるのはとてもありがたいが、他区に比べて破損のチェックがとても厳しい。返す時にチェックのためかなりの時間を取られてしまう。また乳幼児はどんなに気をつけていても破損してしまうこともある。本当に少しの折れでも細かく指摘され、とても心苦しかった。ボードブックを増やす等工夫してもらえるとありがたい。また、子ども向けの本は少しチェックを緩くしてもらえると嬉しい。	返却された資料がつぎの利用者へ提供可能かどうかや、本のページに挟まれた忘れ物がないか等を確認するため、お時間をいただいています。 児童書については、破れやすいページを事前に補強しておくほか、汚破損時の対応についても今後検討します。	△
18	布の絵本は他区にはなく、とてもありがたい。優しいデザインで、遊べるものもあり、子どももとても気に入っている。今後も継続してもらえると嬉しい。	練馬区では布の絵本の収集を始めて令和6年に40周年を迎え、1,302点を所蔵しています。引き続き布の絵本の収集と、制作ボランティアの育成を行います。	○
19	貧困世帯向けに資格試験用の本や参考書もあるとありがたい。	図書館では、各種資格試験の参考書を所蔵しています。所蔵に関しては図書館ホームページで確認するか、直接図書館までご相談ください。 また、低所得世帯等向けの学習支援の場では、利用者の需要に沿った資料を団体貸出するなど、支援を行います。	○
20	子ども向けのイベントを今後もたくさんやって欲しい。工作や講座、手遊びや読み聞かせはとても嬉しい。乳幼児、幼児、小学生低学年、小学生高学年と年齢別にイベントがあると参加しやすい。	図書館では、子どもの発達段階に合わせて、おはなし会や読み聞かせをはじめとした読書事業を実施しています。今後も開催時刻や内容の見直しを適宜行いながら、事業のさらなる充実を図ります。	○

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
21	老朽化した図書館も多いので、トイレ等設備を新しくして過ごしやすい環境を整えてもらいたい。	設備の更新は、施設の改修工事の際に順次進めていきます。引き続き、利用者が気持ちよく過ごせるよう環境を整えます。	□
22	不審者が出ることもあるので、児童コーナーだけでも見守りや防犯カメラがあると安心できる。	館内には必要最少限の防犯カメラを設置しています。再整備を予定している貫井図書館では、児童コーナーの職員が館内を見回りながら、利用者の本探しの手伝いなどを行うことを検討しています。他館においても、相談を待つのではなく、お困りの方には声がけをするなどしてカウンター業務等の充実に努めます。	□
23	子どもが本を探したりする時に児童コーナーの職員に声をかけにくい。エプロンに「声をかけてね」と名札を付ける等工夫が必要だ。		○
24	子どもが乳幼児の間は重い本を持ち運ぶことが大変なので、郵送で返却等ができるようになると嬉しい。	貸出資料の郵送での返却は可能ですが、送料は利用者のご負担となります。配送中に汚破損が生じる恐れもあることから、お近くの図書館や受取窓口のご利用をお勧めします。	－
25	ホームページを新しくして、もっと子どもの年齢別の本の紹介やイベントの告知など分かりやすく見やすく使いやすくしてほしい。子ども向けサイトが充実するとよい。	令和7年1月に図書館ホームページをリニューアルしました。必要な情報にアクセスできるよう、見やすいホームページの作成に努めます。	○
26	子ども向けの映画上映やDVDが視聴できるブースがあると嬉しい。	子ども向け映画の上映会は一部の館で実施しています。視聴ブースの新設については、館内の閲覧席に限りがあることから、現状は予定していません。	△
27	「今図書館にこの本があるか」を調べられる機械を光が丘図書館だけでなく他の図書館にも増やしてほしい。	本の在架状況を確認できる図書館情報システムは図書館・受取窓口（高野台を除く）に配備しています。また、インターネット環境があれば、図書館	□

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
		ホームページから在架状況を調べられます。	
28	図書館が、いじめや貧困等で行き場のない子どもにとっての居場所や見守り（虐待の早期発見）になれるような場所であってほしい。	居場所を必要とする多様な子どもが安心して過ごせる図書館となるよう、関係施設や利用者の意見を聞き取りながらよりよい環境を整えます。	○
29	スクールカウンセラーの仕事をしている立場から意見する。 読み書きに困難があって自分の力では読書活動に取り組めない児童に読書の楽しみを届ける活動を強化してほしい。電子化にも取り組まれるとのことだが肉声で届けることに心理的支援にもつながると思う。	読み書きが困難な方には、リーディングトラッカーの貸出しや対面朗読のサービスを行っています。また、令和6年度には石神井図書館他3館でディスレクシア講演会を実施しているほか、パネル展示を行うなど理解醸成に関するイベントも実施しています。配慮の必要な方への読書活動支援に今後も努めます。	□
30	電子図書館サービスが始まることで、読みたい本、人気の本を予約待ちせずに見られるようになれば、読書への満足度は高くなると思う。 紙の本も利用しつつ、読書が充実するのではないかと思います。	一部のコンテンツを除き、電子書籍も紙資料と同様に1人の方が借りている場合は貸出しは出来ず、予約してお待ちいただくことになります。多様なニーズに対応するため電子書籍コンテンツの充実化を図りながら、従来の図書館資料の収集を進めます。	○
31	子どもの読書という時、親子読書とか、読み聞かせなどの発展に力を注いできた成果がある反面、自らのアイデンティティを探し求める10代の子どもたち（青年層）に対する①図書資料、②音声資料や③居場所がいずれも不足している。	10代の子どもたちに対する各種資料の充実と、居場所機能の強化については、今回の計画でも重点的に取り組むべき内容と捉えています。 リーディングプロジェクトとして、電子図書館サービスの充実、放課後の中高生に向けた図書館での会話可能な時間場所の設定、地域施設における居場所支援事業との連携などを進めます。	○

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
32	外国人の子どもたちで日本語取得に関心のある人や日本語学習が必要な人には、図書館が学習する場と資料を提供するよう望みます。同化政策でないので、あくまで望んでいる人を対象にしてもらいたい。	図書館では、日本語学習用の絵本や参考書を収集して、日本語習得の支援を検討します。また、こども日本語教室の希望を聞き取りながら、必要に応じて、学習場所や資料の提供を行います。	△
33	区内施設で、日本語教室をする人にも資料の団体貸出制度が利用できるとよい。	日本語教室への団体貸出は可能ですので、希望を聞き取りながら連携します。	□
34	18歳までの子どもの数は人口の15%弱、外国の子どもはまだ1%程度であるが、今後増えていくだろうから、お互いの文化の交流を目指して、外国語でのおはなし会を定期的に行うべきだ。	外国語を用いた事業については、今回の計画から新たに目標指標に設定しており、いっそうの充実を図ります。	○
IV 地域			
35	男女共同参画センターの図書・資料室を、練馬区立図書館のシステムに組み入れてくれると、もっと利用しやすくなる。区立図書館分室扱いにすることを提案する。	男女共同参画センターの図書・資料室の取扱いについては、次期図書館システム導入時に検討します。	△
36	外国語の蔵書を増やす取組を盛り込んでほしい。	外国語の蔵書の収集についても取り組むことを追記します。	◎
37	図書館以外で研修を受けた読み聞かせボランティアにも、定期的なフォローアップ研修の実施と、ボランティア同士の交流の場を設けてほしい。	図書館の養成講習会を受講していない読み聞かせボランティアについては、希望者にボランティアフォロー講習会への参加を案内し、講習会後に交流会の実施を検討する旨を追記します。	◎

5 子どもからの意見（要旨）と区の考え方

No.	意見の概要	区の考え方	対応 区分
計画全体に関すること			
1	読書をしている人が減っているなかで、様々な取組をされていてよいと思う。私は読書が苦手だけど、少しでもたくさんの本を読んで協力したい。（ほか同じ意見9件）	読書により知識や表現力を身につけることは、すべての学びの土台となります。みなさんに本を読む楽しさを知ってもらうために、図書館や学校、地域の施設で様々な取組をしています。小中学校や図書館では本を読んでクイズに答えるイベント「本の探検ラリー」や、図書館内を探検しながらクイズを解く「図書館たんけんたい」等を行っています。色々なイベントを通して図書館のことや読書の楽しさについて知ってもらえるよう、ポスターやチラシも活用します。	○
2	読書を好きになることは、子どもの学力などにも直結するのでとてもよいと思う。		○
3	もっとみんなが読書を好きになるために、ポスターやチラシ、クイズを作るとよい。		○
第5章 子ども読書活動推進のための取組			
I 家庭			
4	学校だけでなく、家でも読書ができるような取組は大切だ。	家庭での読書に取り組んでもらうため、家読ノートや推薦図書リストを配布します。また、図書館に行かなくても読書ができるように、令和7	○
5	家読は、家族みんなで楽しく読書できるからやってみたい。	年1月から電子図書館サービスを始めました。「ねりま電子図書館」では、書名や作家で探せるほか、読みたい本を見つけやすくするため、各年代	○
6	電子図書館なら読みたいときにすぐ読めてよいと思う。読みたい本を探しやすくなるといい。	へのおすすめ本を紹介しています。	○
II 学校			
7	タブレットなどの電子機器を使うことによって手軽に読書することができるのでよいと思った。そして毎日読むことによって国語の	令和7年度までに、学校内のネットワークをWi-Fi化し、通信環境を強化します。これに合わせて、区立小中学生に「ねりま電子図書館」	○

No.	意見の概要	区の考え方	対応 区分
	読み取る力などがつくのでよい取組 だと思ふ。 (ほか同じ意見15件)	利用できるアカウントをお渡しし ます。これからコンテンツを増やして いくのでたくさん読んでください。	
8	電子図書館をわざわざ調べなくても すぐに開けるようにしてほしい。	みなさんのタブレットパソコンで はブックマークから入ることができ ますので、学校でも電子書籍をたく さんご利用ください。この取組を伝 わりやすくするため、計画の文章に 追記します。	◎
9	朝読書の時間に本当にタブレット を使うことが許可してもらえるのか 不安だ。教育委員会として通知して ほしい。	タブレットパソコンの利用方法に ついては学校ごとに決まりがありま す。朝読書でタブレットパソコンを 利用したいときは、先生に相談して みてください。	○
10	図書の授業を増やしてほしい。	学校では、国語の時間を中心に 学校図書館を活用した読書の時間 を設けていますが、国語の時間では、 書いたり、話し合ったりするなど さまざまな学習をすることが大切で す。 これから、学校図書館だけでなく、 電子書籍も利用できるようになるの で、授業の時間だけでなく、家庭を はじめ休み時間などでも、時間を見つ けて読書を進めてください。	□
11	学校の図書室を大きくしたりして、 学校で読める本の数を増やしてほし い。 (ほか同じ意見2件)	学校図書館(図書室)を大きくする ことは簡単にはできませんが、 図書室の本は買替えを進めて、読み たくなる本を増やしていきます。	○
12	図書室に人気のシリーズものの本を もっと置いてほしい。 (ほか同じ意見4件)	図書室に置いてほしい本がありまし たら、学校司書の先生や図書委員に 相談してみてください。	○
Ⅲ 図書館			
13	図書館でしゃべれる場所をつくるのは	静かに本を読んだり、友達と楽し	○

No.	意見の概要	区の考え方	対応 区分
	とても賛成だが、迷惑に感じてしまう方もいると思うのでスペースをしっかりと分けるとよい。	く勉強したり、本の感想を伝えあったりするなど、図書館ではいろいろな過ごし方があります。会話のできる時間や場所のルールを決めて、みなさんが居心地よく過ごせる図書館にします。	
14	図書館で友達と一緒に勉強したり、しゃべったりすることはとても楽しそうだ。ぜひ、取り組んでほしい。		○
15	友達と本の感想を共有することができたり、赤ちゃんが泣いてしまっても気にしないでよいからしゃべれる図書館という取組に賛成する。 (ほか同じ意見22件)		○
16	図書館の広さ、本の種類から考えて今の時点でもかなり充実している。	「東京都公立図書館調査（6年度）」によると、練馬区立図書館の図書館資料の貸出点数および、個人予約点数は23区内第1位です。また、所蔵する図書総数は23区内で第3位と充実しています。	—
17	南田中図書館は、本がきれいに並んでいて読みたい本が探しやすい。 (ほか同じ意見6件)	みなさんにとって図書館がさらに使いやすくなり、身近に感じてもらえるよう、引き続き取り組みます。	—
18	図書館に、車椅子に乗っている人のためにスロープや、車椅子利用者専用の棚などをつけてはどうか。	改修工事の際に、館内のバリアフリー化を進めていきます。希望の本で手が届かないものは職員がお手伝いしますので、お気軽に声をかけてください。	○
19	障害がある子や日本語が話せない子などもみんなが楽しめる図書館があったらいいと思う。	図書館のバリアフリー化をはじめ、表示をいろんな国の言葉で書いたり、やさしい日本語を用いるなど、誰もが利用しやすい図書館づくりを進めます。	○
20	もっと外国との交流を増やして外国の文化や出来事を知れるものを	外国語のおはなし会など、いろいろな国との交流とお互いの理解を深	○

No.	意見の概要	区の考え方	対応 区分
	作っただけと思う。	めるイベントや展示を充実させます。	
21	借りたい本が重なってもいいように、2冊ずつあるといい。	予約件数の多い本は2冊以上購入するなど対応しています。より	□
22	図書館にたくさんのお本をおいてほしい。 (ほか同じ意見2件)	多くの方に満足してもらえるよう蔵書を充実させていきます。	○
23	学習できるスペースを設けたり、調べものができるパソコンやタブレットを用意するなど図書館にもっといろいろな機能を取り入れてほしい。	区立図書館には、インターネットを使って調べ物ができるパソコンを置いています。 また、光が丘図書館・練馬図書館・関町図書館には、8種類のオンラインデータベースを見られる専用パソコンを設置しています。 関町図書館にはグループ学習室があります。平和台図書館や春日町図書館などでもグループ学習用にかいぎしつ かいほう 会議室を開放しています。 館内貸出用タブレットの配備については、これから考えていきます。	□
24	来館者を増やすために、図書館に本に関係あるおもちゃを設置してはどうか。	図書館に本に関係するおもちゃが置いてあると楽しそうです。安全に管理できて、紛失・破損のしにくいものであれば置くことができるかもしれません。図書館に興味を持ってももらえるよう、色々な工夫をしていきます。	△
25	図書館で図書カードがないと本が借りられないのではなくて携帯で本が借りられるようにしてほしい。 (ほか同じ意見1件)	令和7年1月から、スマートフォンなどでデジタル利用カードを表示できるようになりました。その画面で貸出しができます。みなさんに取組がより伝わるように計画の文章に	◎

No.	いけん がいよう 意見の概要	く かんが かた 区の考え方	たいおう 対応 くぶん 区分
		ついき 追記します。	
26	でんししよせき よ 電子書籍で読めるようになると としよかん い 図書館に行かなくても本が読めたり、 としよかん ちが だれ ほん か 図書館と違って誰かが本を借りてい す ほん か て好きな本を借りられなくなることが なかつたりしてよいと思う。	れいわ ねん がつ でんししよせきかしだし 令和7年1月から電子書籍貸出 サービスを開始しました。みんなで どうじ み いちぶ 同時に見られる一部のコンテンツを のぞ でんししよせき り かた か 除き、電子書籍も1人の方が借りて かしだ で き よやく ま いたら貸出しは出来ず、予約してお待 ちいただくことになります。	○
IV ちいき 地域			
27	としよかん がっこう とお 図書館が学校よりも遠くて、イベン トをしている時に行きたくても気軽 に行くことができない。もっと近くにあ るといい。としよかん いどう 図書館が移動してきてくれる といい。 おな いけん けん (ほか同じ意見1件)	あた 新 新しく図書館をつくることはで きませんが、学校や家などでもタブ レットパソコンをつか ほん よ を使って本が読める ようにでんししよせき こうにゆう すす 電子書籍の購入を進めます。 また、みなさんが通いなれた場所 でほん した 本に親しむことができるよう、 としよかん ほいくえん じどうかん こそだ 図書館から保育園や児童館、子育て ひろばとう こ しせつ ふくししせつ の広場等の子どもの施設や福祉施設、 こうえん で む 公園などに出向いておはなし会や かみしばい こんご ちいき 紙芝居などをしています。今後、地 域でのイベントをさらにふ ますので、ぜひご参加ください。	○